



2026年4月27日

各位

会社名 株式会社SQUEEZE
代表者名 代表取締役CEO館林真一
(コード：558A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役CFO安養寺鉄彦
(TEL. 03-6455-4721)

(訂正) 「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」
の一部訂正について

2026年4月22日に公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」につきまして、一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付けて表示しております。

記

1. 訂正の理由

記載の内容に一部訂正すべき事項が判明いたしましたので、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

(訂正前)

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	2026年12月期 (予想)			2025年12月期 (実績)			2024年12月期 (実績)	
		対売上高 比率	対前期 増減率		対売上高 比率	対前期 増減率		対売上高 比率
売上高	7,034	100.0	31.0	5,367	100.0	74.9	3,068	100.0
売上総利益	3,017	42.9	33.9	2,254	42.0	104.9	1,103	35.8
営業利益	705	10.0	37.9	511	9.5	112.6	240	7.8
経常利益	700	10.0	32.9	526	9.8	147.4	212	6.9
親会社株主に帰属する 当純利益	513	7.3	△16.7	617	11.5	111.7	291	9.5
1株当たり 当期純利益	166円84銭			202円59銭			95円71銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭			0円00銭	

- (注) 1. 2024年12月期(実績)及び2025年12月期(実績)の1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2026年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(175,000株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大168,800株)は含まれておりません。
3. 2026年1月6日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2024年12月期の期首および2025年12月の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。

(訂正後)

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2026年12月期 (予想)		2025年12月期 (実績)		2024年12月期 (実績)		
		対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対売上高 比率	
売上高	7,034	100.0	31.0	5,367	100.0	74.9	3,068	100.0
売上総利益	3,017	42.9	33.9	2,254	42.0	104.9	1,103	35.8
営業利益	705	10.0	37.9	511	9.5	112.6	240	7.8
経常利益	700	10.0	32.9	526	9.8	147.4	212	6.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	513	7.3	△16.7	617	11.5	111.7	291	9.5
1株当たり 当期純利益	166円84銭		202円59銭		95円71銭			
1株当たり配当金	0円00銭		0円00銭		0円00銭			

- (注) 1. 2024年12月期(実績)及び2025年12月期(実績)の1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 2026年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(50,000株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大150,100株)は含まれておりません。
3. 2026年1月6日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。上記では、2024年12月期の期首および2025年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。

(訂正前)

注記事項

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	3,045,800株	2024年12月期	3,045,800株
2025年12月期	一株	2024年12月期	一株
2025年12月期	3,045,800株	2025年12月期	3,045,800株

(訂正後)

注記事項

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	3,045,800株	2024年12月期	3,045,800株
2025年12月期	一株	2024年12月期	一株
2025年12月期	3,045,800株	2024年12月期	3,045,800株

(訂正前)

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、グローバルな観光需要の着実な成長や賃上げなどの雇用・所得環境の改善により、緩やかな成長基調となりました。一方、不安定な海外情勢やインフレによる先行きの不透明さは継続しております。当社グループのメイン事業であるホテル業界においては、円安を背景としたインバウンド需要の拡大により、日本政府観光局の訪日外客統計によると、訪日外国人数は2025年累計で42百万人に達し、前年比115.8%増と引き続き順調に成長しております。また、国土交通省観光庁「インバウンド消費動向調査 2025年暦年の調査結果(速報)の概要」(2026年1月公表)によれば、2025年の訪日外国人旅行消費額は9兆4,559億円となり、2024年比で16.4%増、過去最高を記録しております。

このような事業環境の中、当社グループは、ホテルの価値や生産性、ゲスト体験向上のため、自社で開発するクラウド宿泊運営システム「suitebook」の機能改善を継続的に行っております。

また、前連結会計年度に引き続き、運営施設数の拡大を推し進めました。当連結会計年度においては、北海道北広島市における北広島駅西口周辺エリア活性化事業の一環である「エスコンフィールドHOKKAIDOホテル 北広島駅前」、京都市内7施設目となる「Minn 烏丸五条 京都 Station North」を始め、各エリアで新規施設をオープンいたしました。このような取り組みの結果、運営施設数は、前連結会計年度末より8施設増の40施設となりました。

以上の取り組みの結果、売上高は5,367,866千円(前年同期比74.9%増)と増収増益での着地となりました。営業利益は511,577千円(前年同期比112.6%増)、経常利益は526,862千円(前年同期比147.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は617,042千円(前年同期比111.7%増)となりました。

(訂正後)

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、グローバルな観光需要の着実な成長や賃上げなどの雇用・所得環境の改善により、緩やかな成長基調となりました。一方、不安定な海外情勢やインフレによる先行きの不透明さは継続しております。当社グループのメイン事業であるホテル業界においては、円安を背景としたインバウンド需要の拡大により、日本政府観光局の訪日外客統計によると、訪日外国人数は2025年累計で42百万人に達し、前年比15.8%増と引き続き順調に成長しております。また、国土交通省観光庁「インバウンド消費動向調査 2025年暦年の調査結果(速報)の概要」(2026年1月公表)によれば、2025年の訪日外国人旅行消費額は9兆4,559億円となり、2024年比で16.4%増、過去最高を記録しております。

このような事業環境の中、当社グループは、ホテルの価値や生産性、ゲスト体験向上のため、自社で開発するクラウド宿泊運営システム「suitebook」の機能改善を継続的に行っております。

また、前連結会計年度に引き続き、運営施設数の拡大を推し進めました。当連結会計年度においては、北海道北広島市における北広島駅西口周辺エリア活性化事業の一環である「エスコンフィールドHOKKAIDOホテル 北広島駅前」、京都市内7施設目となる「Minn 烏丸五条 京都 Station North」を始め、各エリアで新規施設をオープンいたしました。このような取り組みの結果、運営施設数は、前連結会計年度末より8施設増の40施設となりました。

以上の取り組みの結果、売上高は5,367,866千円(前年同期比74.9%増)と増収増益での着地となりました。営業利益は511,577千円(前年同期比112.6%増)、経常利益は526,862千円(前年同期比147.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は617,042千円(前年同期比111.7%増)となりました。

以上